



加古川市立神吉中学校
学校だより
校長室より 卒業証書授与式特集号

飛び立とう 未来信じて！
神吉中学校49回生のみなさん、卒業おめでとう！

春の訪れを感じる温かい日差しのもと、ご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、「第49回卒業証書授与式」を挙行了しました。

皆様方には、日頃から本校の教育に深いご理解と温かいご支援をいただき、さらには、巣立ちゆく卒業生の門出に華を添えてくださいましたこと、心から感謝申し上げます。また、地域の皆様方におかれましては、創立50周年記念式典や、トライやる・ウィークなど、本校生徒のためにお力添えをいただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、49回生は、たくさんの思い出を胸に刻み、卒業することができました。



さて、49回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書授与式では、担任の先生の呼名に、一人一人心が込められた返事がありました。神吉中学校での3年間、義務教育の9年間で締めくくるにふさわしい、とても立派なものでした。

「力を合わせ、力を伸ばそう」を学年目標に、授業や学校行事、生徒会活動、部活動など、仲間や先生とともに、学年のよさや持ち味を生かして学校生活を送っていた姿を懐かしく思います。



そして、この3年間、みなさんには、たくさんの人との出会いがありました。優しさをくれた人。強さを教えてくれた人。悩みを聴いてくれた人。間違っていることに気づかせてくれた人など、たくさんの出会いの中で、みなさんは成長してきました。中には、「あの人に会ったおかげで、今の自分がある」というような出会いもあったかもしれません。

神吉中学校を卒業し、それぞれの進路に進む中で、これから先も新しい出会いがたくさん待っています。自分と違う価値観を持つ人との出会いや、心躍るような学びとの出会い、時には、自分を試されるような困難との出会いもあるかもしれません。これからみなさんが経験するすべての出会いは、自分の人生をさらに豊かにし、大きく成長させる糧となります。

現代社会は、テクノロジーの目覚ましい発展など、かつてないスピードで進化を続けており、将来の予測がつかない時代となっています。しかし、どれだけ時代が変わろうとも、みなさんが培ってきた「思いやり」や「優しさ」は、どのような最新のテクノロジーにも代えられない大切なものとなります。



「一期一会」という言葉には、「あなたが出会っている今の瞬間は、一生に一度きりの機会である」という意味が含まれています。これまで共に学んできた仲間に関われ、それぞれの道に一步踏み出そうとしている「この瞬間」を大切に、希望を胸に自分の道を切り拓いてください。そして、これからは神吉中学校卒業生として、母校を応援してください。

